

許しません 不法投棄

美しい御代田町を未来に残すため、

「自然や景観を破壊する不法投棄（ポイ捨て）は絶対に許さない」

を合言葉に、町民一丸となって取り組んで行きましょう。

町内でのごみの不法投棄（ポイ捨て）が後を絶たないため、町は昨年11月に不法投棄監視装置を設置しました。

今回この監視装置の画像を基に不法投棄行為者が特定され、5月22日まで佐久警察署は佐久市中込在住の会社員男性（52）を書類送検しました。

この会社員男性は、「分別するの面倒だった」との理由で、大字豊昇の民有地に空の弁当箱や空の酒パックなどを詰めた袋約3キロを不法に投棄しました。監視装置には、乗ってきた車のナンバーと本人の姿、ごみを捨てる様子をはっきりと映っていました。



設置した監視カメラ

《最近の県内での主な不法投棄事件(家庭系ごみ)》

不法投棄の内容	行為者	刑罰の内容
普通乗用自動車 1台	派遣社員 男性(22) 他1名	罰金30万円
空き缶、風呂いす など 約240kg	自営業 男性(48)	罰金50万円
自宅駐車場内に廃 エンジンオイル 約13リットル	地方公務員 男性(58)	罰金20万円
ペットボトル、空 き缶など 約30kg	建設作業員 男性(32) 工員女性(27)	罰金30万円 罰金30万円

不法投棄の原因者は、撤去を求められるうえ、重い罰金刑等が科せられます。
不法投棄の罰則【刑事処分】
 個人 5年以上の懲役若しくは一千万円以下の罰金またはこの併科
 法人 一億円以下の罰金

プラスチック製容器包装は
きれいにだしてください **大切な資源**

プラスチック製容器包装の分別

今回は、「D」評価でした

プラスチック製容器包装が正しく分別されているか、汚れがないかの調査が行われ、評価結果が示されました。

前回の調査(平成18年8月)に増して異物の混入や汚れの付いているものが多数認められ、評価は最低ランクのDという結果でした。

正しく分別することはもちろんですが、水ですすぐなどして、きれいなものを出してください。汚れが落ちないものは可燃ごみとして出してください。

みなさまのご協力をお願いいたします。

プラスチック製容器包装とは…

プラスチック製品のうち、容器や包装として使われているもので、☑のマーク表示があるものです。

☑の表示があっても、汚れの落ちないものは可燃ごみになります。



検査対象物



汚れているもの



紙などの異物

美しい御代田町を未来へ

ごみの減量化を進めることは、私たちの生活にとって重要な課題です。御代田町では、地区の役員さん方をはじめ町民のみなさん一人一人の分別排出などの努力により、ごみの減量化について大きな成果をあげてきています。

平成18年度 ごみ排出量の概要

ごみの排出量は平成16年度、17年度と微増加傾向にありましたが、平成18年度中の排出量は前年度比2.1%減少し、2,969tでした。

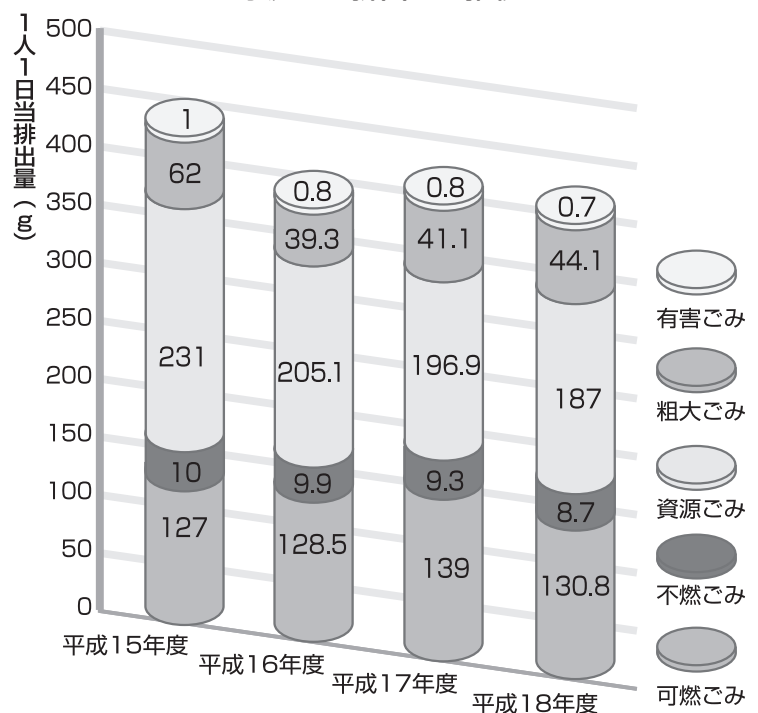
収集区分別排出量では、可燃ごみは前年比12.5%減で1,412.3t、不燃ごみも前年比15.9%減の96.9t、逆に資源ゴミは前年比13.1%増で、1,215.5tでした。可燃ごみの減少と資源ゴミの増加については、これまで焼却していた事業所の生ごみの処理方法を、浅籬汚泥再処理センターでの堆肥化処理に変更したためです。

家庭可燃ごみ6%減少

一般家庭から排出されるごみについては特筆すべき変化がありました。増加傾向にあった可燃ごみが平成18年度に前年比6.0%減少したことです。(表参照)これは大変喜ばしいことです。

また、一般家庭から排出されるごみについては、資源ごみも前年比5%減少しており、(内訳は、プラスチック容器包装、ペットボトルなどが3%程度増加した他は、紙類の3.7%減、缶類、ビン類10%減など全体として資源ごみも減少しています)分別、

家庭ゴミ排出量の推移



資源化の努力だけでなく、ものを買う時ごみが出ないよう工夫するなどの減量化へのみなさん一人ひとりの努力の成果とみることができま

「雑紙」の分別収集とごみの減量化を

しかし、昨年から分別をお願いした「雑紙」資源化のため、の分別収集量は、統計的には大きな変化を示していません。昨年未行った可燃ごみの組成調査によると、可燃ごみの内

27%程度が再生可能な紙類「雑紙」であることが分かりました。今後可燃ごみの減量化を進めるにあたっては、この「雑紙」の分別収集を一層推進する必要があります。

また、今後ごみ減量化の成果を確かなものとするため、ごみの減量化への工夫と努力を引き続きお願いします。

問い合わせ先

生活環境課環境衛生係

(内線39・47)